

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
医療安全	3年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	坂本 優子 ※
授 業 概 要					
<p>これまで学習した危機予見知識を復習し、複雑で専門的な危険回避の判断と行動のシミュレーション学習を学ぶ。さらに安全文化を醸成し、リスク回避の行動がとれる基本的知識を身につけることでチーム医療に貢献できる視点を身につける。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全を学ぶ意味とその重要性について説明できる。</li> <li>2. 医療安全の考え方の変化・基本的用語について説明できる。</li> <li>3. 国の医療安全対策・医療法における医療安全への取り組みがわかる。</li> <li>4. 医療事故の報告制度と医療制度と医療の質の評価の必要性について説明できる。</li> <li>5. 事故発生メカニズムとリスクマネジメントについて説明できる。</li> <li>6. リスクセンストレーニング・コミュニケーショントレーニングにより危険回避行動がとれる。</li> </ol>					
実務経験のある教員					
坂本 優子：看護師としての臨床経験をふまえ、医療安全について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全を学ぶ意義、医療安全の基本的な考え方 医療安全の看護の理念</li> <li>2. 看護・医療事故を予防するための方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事故の発生メカニズム：ヒューマンエラー・事故分析・事故分類</li> <li>2) 事故防止の考え方 安全文化の醸成・エビデンスに基づいたチームトレーニング</li> </ol> </li> <li>3. アクティブラーニングを活用した医療安全演習 ～シミュレーション学習～ ～ヒューマンエラーやコミュニケーションエラー（職種間など）～ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事例紹介</li> <li>2) グループ学習、ディスカッション、実施</li> <li>3) プリーフィング</li> </ol> </li> <li>4. リスクセンストレーニング演習 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者やそれぞれの病態や障害に潜む危険を理解し、危険を予知し、できる限りの対処をする気づきを得る。</li> <li>2) なぜ危険であるか、根拠を述べる。</li> </ol> </li> <li>5. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護職業務上の危険</li> <li>2) 感染の危険を伴う病原体への暴露</li> <li>3) 医療機器・機材の使用に関わるリスクと対策</li> <li>4) 医療品への暴露</li> <li>5) 労働形態・作業にともなうもの</li> </ol> </li> </ol>				坂本 優子 ※
学 習 方 法					
講義・グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験・課題レポート・ワーク参加状況					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>[教科書]  系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [2] 医療安全 川村 治子 著 医学書院</p>					